

小麦・大豆の国産化の推進

令和8年度予算概算決定額 36百万円（前年度 35百万円）

〔令和7年度補正予算額 7,008百万円〕

<対策のポイント>

産地と実需が連携して行う**麦・大豆の国産化を推進**するため、**施肥・防除体系の構築等**による**生産性向上**や**増産**を支援するとともに、国産麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンター等の再編集約・合理化**や民間主体の**一定期間の保管等**、**新たな生産・流通モデルづくり**や更なる利用拡大に向けた**新商品開発等**を支援します。

<事業目標> [令和5年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加（109万t→137万t）
- 大麦・はだか麦生産量の増加（23万t→26万t）
- 大豆生産量の増加（26万t→39万t）
- 国産小麦・大豆の保管数量（小麦：28,774 t→90,000t、大豆：6,258t→25,500t）

<事業の内容>

1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策 36百万円（前年度35百万円） 〔令和7年度補正予算〕5,008百万円

① 生産対策（麦類生産技術向上事業）

麦の生産性向上を目指す産地に対し、**施肥・防除体系の構築等**を支援します。

② 流通対策

ア 麦・大豆供給円滑化推進事業

国産麦・大豆を**一定期間保管**するなど、安定供給体制を図る取組を支援します。

イ 新たな生産・流通モデルづくり事業

麦の品質向上や極多収大豆の種子生産に加え、新品種の導入、フレコンの本格導入、実需者の加工試験など、**新たな生産・流通モデルづくり**を支援します。

③ 消費対策（麦・大豆利用拡大事業）

国産麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発等**を支援します。

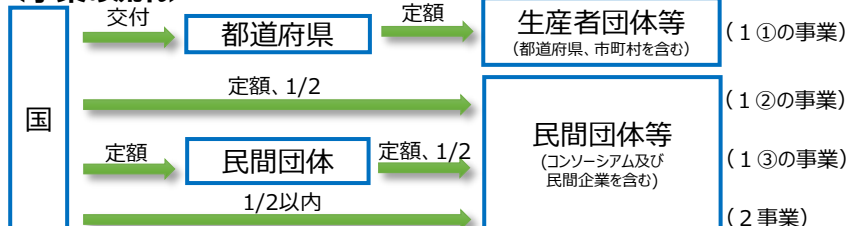
2. 新基本計画実装・農業構造転換支援事業のうち

麦・大豆ストックセンターの再編集約・合理化

〔令和7年度補正予算〕2,000百万円

国産麦・大豆の安定供給を後押しするため、**ストックセンター等の再編集約・合理化**を支援します。

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

（1①、1②ア(大豆)、1②イ、2の事業）

（1②ア(麦)、1③の事業）

<事業イメージ>

①生産対策

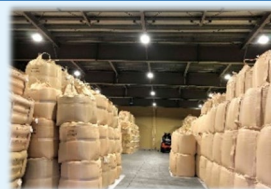


麦の施肥・防除体系の構築
（定額（2,000円/10a以内））



生産性向上の推進（定額）

②流通対策



- ・ ストックセンター等の整備（1/2以内）
- ・ 一定期間の保管等（定額、1/2以内）
- ・ 新たなモデルの実証（定額、1/2以内）

③消費対策



新商品の開発等（定額、1/2以内）

麦・大豆の国産化を一層推進

農産局穀物課（03-6744-2108）

農産局貿易業務課（03-6744-9531）